2024年 新年のご挨拶

剣淵町長　早坂　純夫

希望に満ちた新春を迎え、町民の皆様に心からご挨拶を申し上げます。

旧年中は、日ごろより町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の天候推移は、一昨年と打って変わり猛暑の日が続き、８月には豪雨による被害もあり、作物の生育には収量と品質のばらつきがみられました。水稲の作況指数は、全道平均でやや良い104となりましたが、野菜類、豆類、小麦、馬鈴薯、てん菜、そば等は高温の影響を受けた状況であります。

全体では、ほぼ平年に近い年となりましたが、肥料や燃料・飼料などの価格高騰が続いており、地方自治体には限界があり、国の対策がさらに待たれるところであります。

国の農業施策の一つであります、水田活用の直接支払い交付金につきましては、現制度は令和８年で時限を迎えます。町といたしましても、関係団体と連携を密にし、できる限りの制度設計対策を講じていかなければならないと考えています。

コロナ禍も、昨年５月８日に感染症分類が第５類となり、従来からのインフルエンザと同じ分類に変わりました。ワクチン接種により症状が軽くなったとは言え、個々に症状が違う状況であり、感染は収まってはいません。引き続き各種感染症も含め防止策を自ら行うことが大切と考えます。

さて、世界に目を向ければ、令和４年２月24日からのウクライナ・ロシア戦争の長期化に加え、中東ではパレスチナ自治区におけるイスラエルとハマスの戦いが昨年10月７日に勃発し、無差別の攻撃が繰り返されています。

アジアでは、中国・北朝鮮の軍事行動が日本を取り巻く、不安定な状況をもたらしています。これらの世界情勢を考え、日本の立ち位置をしっかりと考えなければならない時であります。

日本経済は、円安を基調に成り行きが心配な状況であります。コロナ関係や物価高騰を意識した補正予算も底が付きそうな状況でありますが、５類となったことによる景気の回復が期待される年にもなると考えます。

剣淵町は開基から125年目に入り、町づくりは、自らが、自主・自活して何ができるかを求められている時代であります。

自主性を重んじた社会参加と、コミュニティの力による共助が今まで以上に必要となります。

コロナ禍後の将来を見据えた行政展開をするためには、厳しい町財政に深いご理解と、町民の皆様の町づくりに対する参加姿勢に改めてご期待申し上げます。

多様な地域生活の変化に対応するため、町民の皆様の広いご意見を頂戴し、活力ある絵本の里けんぶちの町づくりに２０２４年も邁進(まいしん)したいと考えています。

今年一年、町民の皆様が健康にて、今年こそは五穀豊穣の秋を迎えられますよう、ご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

剣淵町議会議長　髙橋　毅

町民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には２０２４年の初春を健やかにお迎えになられたことに心よりお喜び申し上げます。

日ごろから皆様方には、町政や議会活動に特段のご理解とご協力をいただいていますことに議会を代表して心よりお礼を申し上げます。

コロナ感染症は昨年から第５類に移行し日常の生活を取り戻してきましたが、インフルエンザも含め油断は禁物です。

世界はロシアによるウクライナ侵攻が続く中、イスラエルとハマスの戦闘が始まり安全保障をめぐる状況は不安定さを増しています。１日も早く戦争が終わり平和な世界が戻ることを祈っています。

戦争の影響は多くの物価高につながり、国民生活は苦しくなっています。農業者も肥料、飼料、燃料など生産資材高が農産物価格に反映できず、経営も厳しさを増しています。農業情勢も目まぐるしく変わり、水田活用直接支払交付金の見直しの中、畑地化に関する予算枠が少なく、農業者も戸惑っています。農業は、工場の製品のように必要に応じて１、２年で需給に合うようにはできません。

政府も10年、20年先を見据えて若い農業後継者が安心して営農できるような政策を打ち出す必要があります。

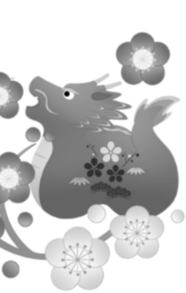
農作物の物流も２０２４年問題で影響が出てくると思います。

昨年は猛暑、大雨で皆さんの生活も大変だったと思います。暑さで体調管理も苦労されたことでしょう。農作物も南瓜は熱波で日焼けし口をパックリ開けて腐敗し、大豆もシワ、変形でライスセンターの調整作業も時間がかかりました。異常気象も毎年続く可能性があり、猛暑、大雨対策が必要になってくると思います。農業及び食の安全保障に対する危機感がテレビや新聞でも徐々に取り上げられるようになり、私たちが訴えている農業は、国土・食料・水を守る「緑の自衛隊」の考えも政治家の中に「緑の安全保障」と言ってくれる人たちも出てきましたので、この考えを広めて農業の支援者を増やしていかなければならないと思っています。議会も関係機関と連携して農村環境をより良い方向に進めて行きたいと思います。

商工業の皆様もコロナ禍で苦労されたと思いますし、諸事情により閉店されたお店が増え寂しく思います。これまで町民の生活を支えていただいたことに心から感謝いたします。ウシロサービスの跡にDa・マルシェが出店し町民の皆様の買物に安心感をもたせ、遠くまで車の運転ができない人たちに喜ばれ、大変うれしく思います。

プレミアム商品券の活用も含め商工業の活性化を願います。

議会では、定数等議会改革特別委員会で議員定数のあり方について議論をしておりますが、町民の皆様の幅広いご意見をお伺いするためにアンケートを実施していますので、多くのご意見をお願いします。また、少子高齢化の中、諸問題を町理事者と協議し、課題解決に向けて努力します。

先人たちが苦労を重ね築いてこられた素晴らしい郷土を若者と次の世代に継いでいけるよう議会一致して力を合わせます。

結びに本年も災害のない豊穣の年であることと、町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。